

開催概要（案）

- 名 称 平成 29 年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業
市民公開講座
『「もしも、のために話しておこう。」人生の最終段階における医療・ケアについて』
- 開催趣旨 人生の最終段階において、患者の意向を尊重した医療を受けるためには、これから受ける治療やケアについて、自分の信頼できる人や医療従事者と詳しく話し合っておくこと（アドバンス・ケア・プランニング）が重要だと言われている。本市民公開講座を通じて、一般市民が人生の最終段階における医療に関する治療やケアについて考える機会としていただくとともに、普及啓発用に作成した資料の評価を行う。
- 目 的 一般市民を対象として、「これからの治療やケアについて考える」ことを通して、人生の最終段階における医療について考え、自分の信頼できる人と話し合っておく機会を提供すること
- 主 催 国立大学法人 神戸大学
- 後 援 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 等
- 開催日 2018 年 1 月 21 日（日）13：30～16：15（13：00 開場）
- 会 場 イイノホール（東京 霞が関）
- 規 模 募集定員 200 名（市民）（他に、厚生労働省等関係者およびプレス 100 名程度）
- 対 象 健康成人ならびに慢性疾患を有する成人市民及びその家族
- 参加費 無料
- プログラム
 - 13:00 開場、受付開始
 - 13:30-13:45 事前質問票記入
 - 13:45-13:50 開会挨拶・概要、来賓挨拶
 - 13:50-14:20 講演（櫻井なおみさん）「あらかじめこれからの治療・ケアについて話し合うことの重要性」
 - 14:20-14:50 講演（木澤義之）「これからの治療・ケアについて考える 1」
 - 14:50-15:05 休憩
 - 15:05-15:30 講演（木澤義之）「これからの治療・ケアについて考える 2」
 - 15:30-16:00 実践（江口恵子さん）「あらかじめこれからの治療・ケアについて考えておくことの重要性」
 - 16:00-16:15 事後質問票記入